

平成29年度二学期終業式式辞

おはようございます。8月21日から始まったこの2学期もあっという間に4ヶ月が過ぎ、終業式を迎えました。この1年、2017年も残すところ10日となりました。

皆さんにとってこの2学期はどうだったでしょうか。折角の機会ですので、この2学期を少し振り返ってみたいと思います。

先ほども表彰を行いました。部活動で三重総合高校の活躍は本当に素晴らしいものがありました。剣道女子は夏の県総体に続いて秋の新人戦を征し、現在、県大会で3連覇中です。男子も優勝旗まで後一步のころまで来ています。

柔道では、1年生の羽田野真尋さんが先日の大会で九州チャンピオンになりました。

野球部は秋の九州大会予選で県ベスト4に進出し、その力を県内に知らしめました。

陸上部やソフトテニス部の生徒もよく頑張り、九州大会に出場しました。

文化部では、吹奏楽が県予選を突破し南九州大会に出場し、惜しくも賞を逃しましたが、演劇部や自然科学部も素晴らしい取組を見せてくれました。

また、神楽部は地域のお祭りを始め、先日行われた農業高校生の収穫祭では、たくさんの人が集まったJR大分駅ビル前で立派な舞を披露してくれました。

全部を伝えることはできませんが、部活動を通じたあなた達の活躍は学校だけでなく、地域や大分県全体の活力となっています。自信をもってこれからも頑張ってください。

9月末の楠学祭では、文化の部では2年生が、体育の部では3年生が躍動感あるパフォーマンスを見せてくれました。11月23日には、生物環境科の生徒を中心に収穫祭を行いました。これまであなた達が育て収穫した農作物やその加工品を求めてたくさんの方が来校してくれる中、生物環境科の生徒の動きや対応は立派でした。

2年生の修学旅行もとても良かったと思いますし、一昨日は、エトピア大野で今年初めて3つの科合同での学習成果発表会を行いました。地域の方も足を運んでくれる中で、メディア科学科、生物環境科の課題研究、普通科の取組を堂々と発表し、本校の学習活動の一端を伝えることができたと思います。

三重総合には3つの科があり、授業では各科の特色・魅力あるいろいろな取組を行いながら、学校行事や部活動を通して、学科の垣根を超えて学年、学校全体として一体感を感じることができます。このことはとても大切なことだと思います。これからも「チーム三重総合」、この仲間を大切に頑張っていきましょう。

一方で、課題もあります。この4月から生徒指導の問題が幾つかありました。

そのほとんどが興味本位のふざけ半分であったり、軽く考えた軽率な行動によるものです。そういった行動は、人を不快にしたりいやな思いをさせることになったり、周りに迷惑をかけます。自分が被害や犯罪に会うかもしれません。

自分の行動に責任を持ち、しっかりとした判断ができるようになってほしい。その為には自分がこんなことをしたら相手はどう感じるかということの思いやることが大切です。

相手を思いやることができない人は大人として失格です。ルールとマナーを守れる人間に

なってほしい。ぜひ、このこともお願いします。

最後に、3年生でこれから受験を控えた生徒、今が一番きつい時だと思いますが、きつい時は、小さな目標を定めて、スモールステップで前に進むことです。

入試で100点をとる必要はありません。できない問題があっても当然です。できる問題が確実に得点できるよう、ねばり強く、「がむしゃら」に最後まであきらめない、強い気持ちをもって、まず1月13日、14日のセンター試験に向けて取り組んで下さい。この寒い冬を乗り切ってこそ、希望の春がやってきます。

先生方も皆さんの進路達成に向けて最後まで応援します。

一緒に頑張りましょう。

以上で、2学期終業式の式辞とします。よい新年を迎えて下さい。